

第5回 日野市住宅ストック活用推進協議会 議事要点録

日 時：平成30年5月18日(金) 9:30～11:30

場 所：市役所4階 庁議室

議事内容

- (1) 空き家活用に伴う改修費補助2件(現場視察有)
- (2) 専門家派遣事業対象選定方法案
- (3) 平成30年度主な取り組み(案)

報告事項

- (1) 平成29年度専門家派遣事業の実施について
- (2) 平成30年4月21日に開催の専門家派遣事業説明会の開催状況
- (3) 空き家ガイドブックの発行について

会長

- 次第の確認。議事について事務局に説明を指示。

議事(1)について

事務局

- 議事(1)について、現場視察があるため移動の車中にて資料2-1、2-2により事務局から説明。

委員

- 資料2-1について委員に意見、質問を求め、同時にチェックシートの記入を指示。

委員

- 近隣住民とはどれほどの範囲を想定しているのか。

事務局

- 4つの自治会が入り組んでいる地域で、現在はまだ自治会に対して声掛けをしていないが、周りの自治会や、近所の小学校に声を掛ける予定。

委員

- 元々他の場所で活動をしていた団体なのか。

事務局

- 川辺堀之内で活動をされている。

委員

- 活動内容の「調理講習会、掃除紹介」に関して、まず調理講習会については、調理するだけで販売等は行わないのか。また、調理講習会の一度の受講料等はどうなっているのか。

事務局

- 一度当たりの講習会の受講料は聞いていない。作ったものをいずれは販売しようと考えている。

委員

- 補助金にはそもそも種別があり、そもそも資本がある人、収入がある人は自分の全負担でやるべき。お金に困っているから補助をするというのが基本だと思われるので、今後は申請者の資本状況等も教えてほしい。具体的な事業プランも教えてほしい。

事務局

- 地域貢献に対しての補助であるため、活動に関しては交流イベントを開いたりするのが主で、基本は地域貢献活動のみを考えていたが、いずれは事務所機能も持たせるつもりである。

- 委員
- 事務局
- 委員
- 事務局
- 会長
- 委員
- 事務局
- 委員
- 事務局
- 委員
- 事務局
- 委員
- 事務局
- 委員
- 会長
- 会長
- 事業の比率はどうなっているか。
 - どの事業にウェイトをかけているのかは不明である。
 - 補助を出した後に不正を働いているのかなどの確認はどうしているのか。
 - 要綱に記載しているが、活業者には状況報告を義務付けており、不正があった場合には返還を求める。
 - 資料2-2について委員に意見、質問を求め、同時にチェックシートの記入を依頼。
 - 隠れていた瑕疵に関しては費用負担は活業者との間で決まっているのか。
 - 現在契約は結んでいる段階で、隠れていた瑕疵等が発覚した場合は協議という形になっているが基本は所有者の負担である。活業者の負担としては、家財の処分、公共下水、壁面等の修繕の費用となっている。
 - 補助を出して購入したエアコン等は契約満了で家屋が所有者に返還または除却された場合はどうなるのか。
 - 基本は原状回復としている。この物件では片付けを終えた状態を現状とする。エアコン等の処分をどうするのかはその時点で協議としている。
 - 補助を出してエアコンを購入した場合に最後所有者に買い取っていただいた場合は補助金分のお金は市に返還されるのか。
 - 要綱の主旨としては地域貢献に必要不可欠のものに対して補助を出し、利用期間等は定めていないが、一年でやめると言われた際には事業の延長を促す。
 - 最終的に市も契約内容に混ざる必要がある。
 - 基本的に市には交付決定の取り消し権というものが存在し、期間を定めて返還を命令することが出来る。国の制度だと、10年間の利用を原則とするが、補助のハードルが高く、制度利用が進んでいないという実態がある。何年と定めるのではなく、できるだけ長くという曖昧な表現にはなるが定めている。
 - 浄化槽の除去となっているがかなりの費用が掛かるのではないだろうか。
 - 全体工事が100万円程かかるころの約半分が浄化槽の公共水道への交換費用になる。
 - チェックシートの集計を事務局に促す。資料2-1の集計結果から発表。
 - Q1「地域のニーズに合っているか」に関しては合っているが7名、わからないが2名。
 - Q2「地域貢献に役立ちそうか」に関しては、多様な交流の場の創出が6、生活利便性の向上は2名、コミュニティ活性化は4名、良好な住環境の維持・形成が5名、以上の内容を踏まえて活用が役立つかに関しては効果があるが8名、わからないが1名。
 - Q3「改修内容は、地域貢献活用に効果があるか」に関しては、効果あるが7名、わからないが2名
 - Q4「活用内容は実現できそうか」に関しては、できるが6名、わからないが3名。
 - Q5「活用内容に期待できるか」に関しては、できるが6名、できないが1名、

わからないが2名

- 全ての間に対して、2/3以上の同意を得られているため、資料2-1は地域貢献に資するとする。
- 資料2-2の案件の集計結果を発表。
- Q1「地域のニーズに合っているか」に関しては合っているが8名、わからないが1名。
- Q2「地域貢献に役立ちそうか」に関しては、多様な交流の場の創出が8、生活利便性の向上は2
- 1名、コミュニティ活性化は7名、良好な住環境の維持・形成が4名、以上の内容を踏まえて活用が役立つかに関しては効果があるが8名、わからないが1名。
- Q3「改修内容は、地域貢献活用に効果があるか」に関しては、効果あるが8名、わからないが1名
- Q4「活用内容は実現できそうか」に関しては、できるが7名、できないが1名、わからないが1名。
- Q5「活用内容に期待できるか」に関しては、できるが7名、わからないが2名
- 全ての間に対して2/3以上の同意を得られているため、資料2-2は地域貢献に資するとする。

議事（2）及び報告（1）、（2）について

会長
事務局
会長

- 事務局に議事（2）について説明を指示。報告（1）、（2）も関連するため、合わせて説明を指示。
- 議事（2）について資料3により説明。併せて報告（1）について資料5、報告（2）について資料6により説明。
- 意見・質問を促す。
- チェックシートと選定する際の基本的な考え方が連動していない。市の施策に合っているかどうかなどがいいのではないか。
- その通りである。修正する。
- 他の質問を促す。

議事（3）について

会長
事務局
会長
会長

- 事務局に議事（3）の説明を指示。
- 議事（3）について資料4により説明
- 意見・質問を促す。
- 意見・質問が無ければ議事（3）についてはH30年の取り組み案として認める。

報告事項（3）について

会長
事務局
会長

- 事務局に報告（3）について説明を指示。
- 報告（3）について資料7により説明。
- 意見・質問を促す。

閉会

- | | |
|-----|--|
| 会長 | ➤ ご協力ありがとうございました。議事及び報告事項は以上となります。その他意見等ありますか。 |
| 事務局 | ➤ 長時間にわたり、ありがとうございました。次回は7月の中旬を予定している。 |